

教育課程特例校による特別の教育課程の編成の方針等について（英語活動の実施）

1 岡崎市における教育課程特例校指定の沿革

岡崎市では、英語で自分の思いや考えを伝え合うことができる「英語が話せるおかざきっ子」の育成を目指し、平成22年度より教育課程特例校の指定を受け、小学校第1学年から第6学年で「英語活動」を実施してきました。

平成31年度以降、学習指導要領の先行実施に伴い、第5、第6学年で外国語科の授業時間数が週2時間に増えたことを受け、教育課程特例校による特別の教育課程の編成を小学校第1学年から第4学年までに変更しました。

また、今年度からは次期学習指導要領への対応を見据え、総合的な学習の時間をより柔軟に活用できるよう、小学校第3・第4学年の外国語活動の授業時数を変更しています。令和9年度の完全実施に向けて、各学校において教育課程の工夫・改善を図りながら、より効果的な外国語教育の実践に取り組んでいます。

2 岡崎市における小学校第1学年から第4学年での取組

現在岡崎市では、小学校第1学年から第4学年において「英語活動」の授業を行っています。

第1学年と第2学年では、「生活科」の時間を35（第1学年は34）時間を「英語活動」に充てています。小学校第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」20時間を「外国語活動」に充てています。そのうちの35時間を、OK English を視聴する時間に充てています。

【資料1】岡崎市の教育課程（基本案）

区分	各教科										特別の教科道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動 + 英語活動	総授業時間
学年	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	50	55+0	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	50	55+0	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日10分の帯時間に岡崎市小学英语研究委員会の自作動画教材『OK English(約8分の動画教材)』を視聴することで、週1コマの授業時間としています。動画の内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともに動画を繰り返し視聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。



【資料2】OK English

3 本校の取組

藤川小学校では、3・4年生は週1時間の外国語活動に加えて、1・2年生は英語活動として、岡崎市のDVD教材視聴等を週1時間分、実施しています。毎日12時10分から12時20分を「英語活動」の時間として位置付けています。児童は、『OK English』のDVDを視聴して、チャンツなどの発音練習を繰り返したり、歌や踊りを楽しんだりして、英語に親しむことができます。具体的な場を設定して会話の練習に取り組み、子供たちは、登場人物になりきって担任とともに会話を楽しんでいます。

◎指導の基本方針と全体計画

言語や文化について体験的に理解を深め、言葉の大切さや豊かさに気づかせること、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、楽しさを味わわせることを指導の基本方針としています。

<全体計画>

- ・1～4年は、毎日10分間を英語タイムとし、英語のDVDの視聴を週5回実施します。
- ・具体的な場面を想定して日常会話に触れ、5・6年の外国語科の学習につなげることを目指します。

◎学年別の指導の重点

- 1年：英語の音声に親しみ、あいさつ等の簡単な英語表現を聞きとる力を伸ばします。
- 2年：英語の音声に慣れ、あいさつ等の簡単な英語表現を身に付けます。
- 3年：積極的にコミュニケーションを図る活動を計画的に取り入れ、外国語活動への意欲の喚起をはかり、英語の基礎的な音声やリズム等に慣れ親しみます。
- 4年：外国への興味・関心や英語学習への意欲の喚起をはかり、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気づくようにします。